

**NSG**

**GROUP**

# NSG グループ

## 2017年3月期第1四半期決算報告

(2016年4月1日～2016年6月30日)

## 諸岡 賢一

代表執行役副社長兼CFO

## クレメンス・ミラー

代表執行役副社長兼COO

## イアン・スミス

経理部 グループファイナンス担当ディレクター

# 2017年3月期第1四半期決算報告

(2016年4月1日～2016年6月30日)

## 目 次

要点

決算概要

事業状況

まとめ

# 要点：2016年4月－2016年6月

- 2017年3月期第1四半期の営業利益は、前年同期を大きく上回る
- キャッシュ・フローは、利益の増加により改善
- 事業改善・財務改善のための施策は順調に進捗

# 2017年3月期第1四半期決算報告

(2016年4月1日～2016年6月30日)



## 目 次

要点

決算概要

事業状況

まとめ

# 連結損益計算書

(億円)	<u>17年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>16年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>前年比</u>
売上高	1,505	1,621	-7% <sup>2</sup>
無形資産償却前営業利益	89	52	71% <sup>3</sup>
償却費 <sup>1</sup>	(18)	(21)	
営業利益	71	31	
個別開示項目			
金融費用(純額)	(42)	(42)	
持分法による投資損益	0	(1)	
税引前利益/(損失)	107	(18)	
当期利益/(損失)	44	(5)	
親会社の所有者に帰属する当期利益/(損失)	39	(14)	
EBITDA	162	137	18%

1 ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

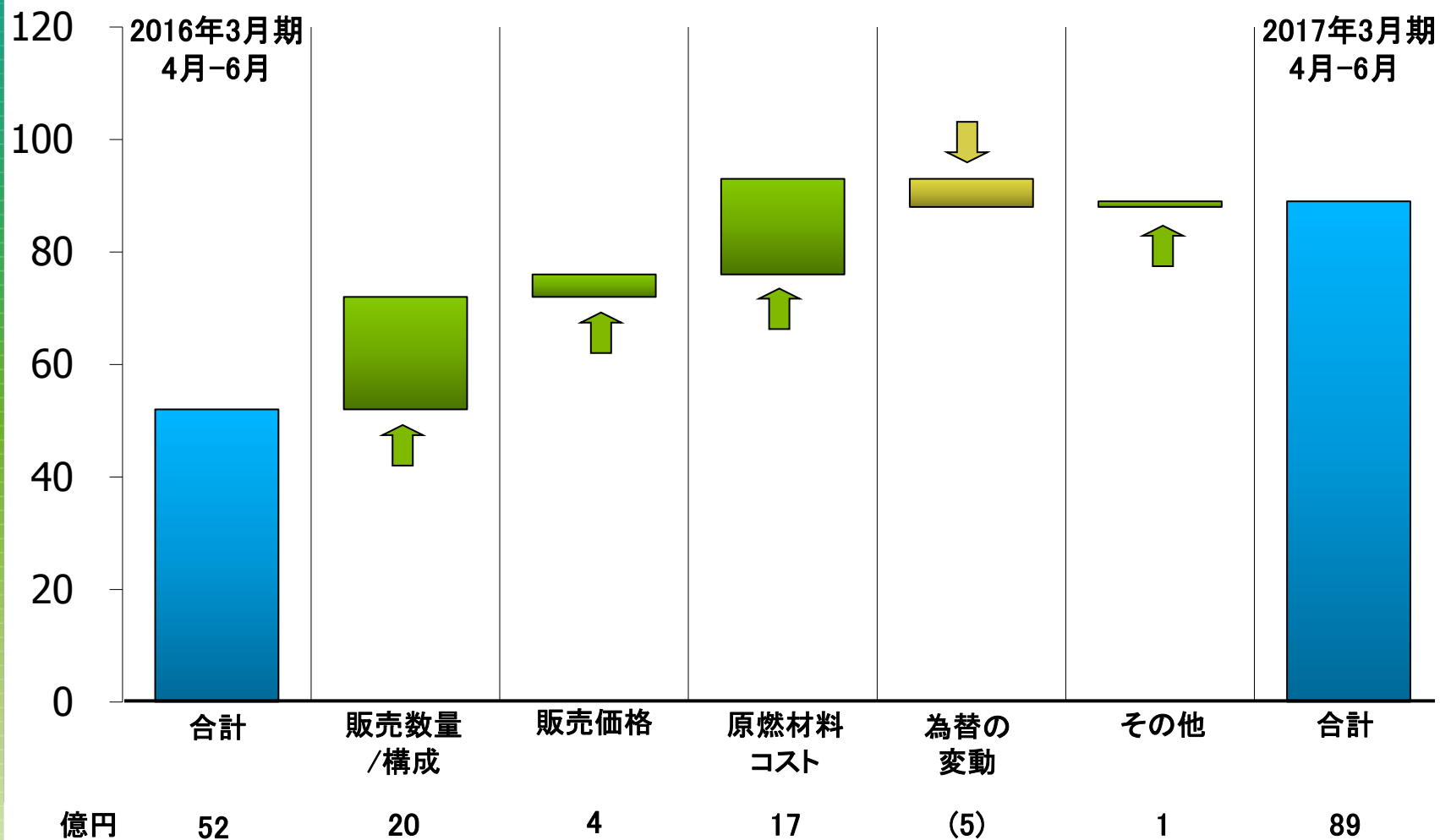
2 為替変動を除くと4.5%増

3 為替変動を除くと97%の増

円高による影響を受けるも、無形資産償却前営業利益は着実に改善

# 営業利益差異分析

(無形資産償却前)



市場の回復と原燃材料コストの減少により、利益増



# 個別開示項目

(億円)

	<u>17年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>16年3月期</u> <u>4月-6月期</u>
有形固定資産等の売却による利益	77	-
事業撤退による利益	9	-
関連会社に対する投資の売却による利益	7	-
関連会社に対する持分変動益	-	1
リストラクチャリング費用	(7)	(3)
有形固定資産等の減損損失	(7)	-
係争案件の解決に係る費用	(1)	(4)
	<b>78</b>	<b>(6)</b>

## 有形固定資産の売却益を計上

# 連結キャッシュ・フロー

(億円)	<u>17年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>16年3月期</u> <u>4月-6月期</u>
当期利益/(損失)	44	(5)
減価償却費	91	106
減損損失	7	-
有形固定資産等売却益・事業撤退による利益	(94)	-
法人所得税支払額	(19)	(12)
その他	62	(55)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー（運転資本の増減考慮前）</b>	<b>91</b>	<b>34</b>
運転資本の増減	(111)	(149)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>(20)</b>	<b>(115)</b>
有形固定資産の取得	(78)	(86)
資産売却収入	86	-
その他	(5)	(3)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3</b>	<b>(89)</b>
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>(17)</b>	<b>(204)</b>

利益の増加による営業活動によるキャッシュ・フローの改善

# 主要財務指標(KPI)

	<u>2016年6月末</u>	<u>2016年3月末</u>
ネット借入(億円)	3,741	3,810
ネット借入/EBITDA	6.0x	6.3x
ネット借入/純資産比率	5.4	3.4
	<u>17年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>16年3月期</u> <u>4月-6月期</u>
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	4.0x	3.7x
営業利益率*	5.9%	3.2%

\* 無形資産償却前営業利益

**ROSなどのP/L指標は改善、純資産は円高の影響をうける**

# 2017年3月期第1四半期決算報告

(2016年4月1日～2016年6月30日)



## 目 次

要点

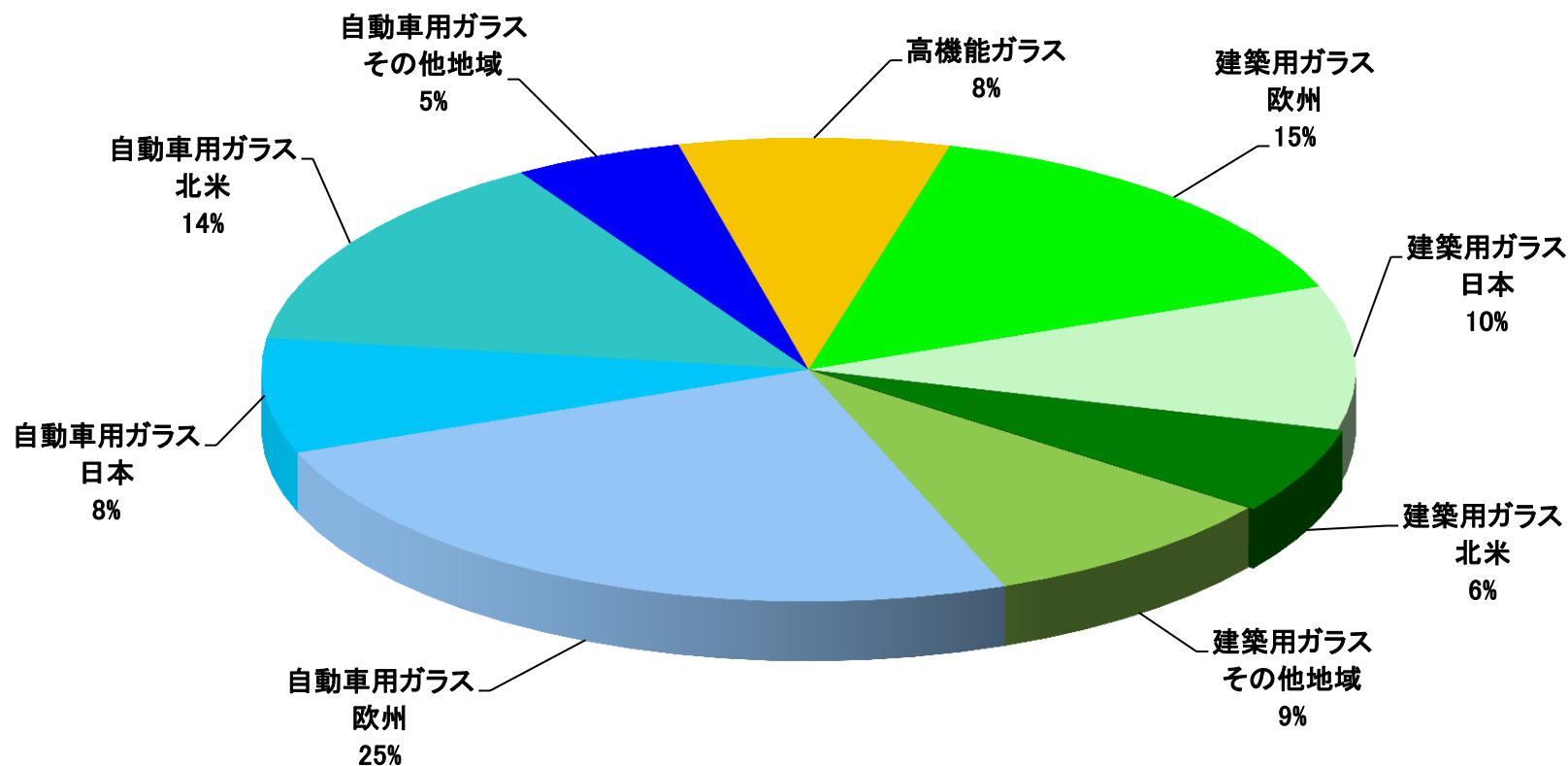
決算概要

事業状況

まとめ

# 事業別売上高

1,505億円

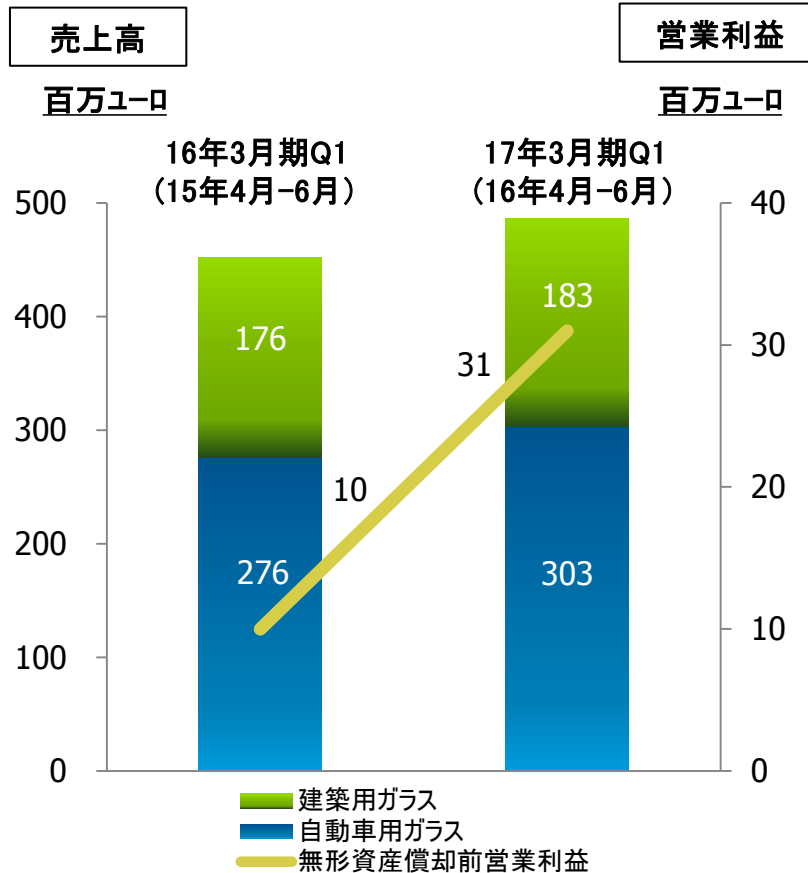


2017年3月期 第1四半期  
(2016年4月-2016年6月)

グローバルに事業展開

# 欧州

## 2016年3月期第1四半期との比較



### 建築用ガラス事業

- 需要の増加により、数量と価格が改善
- エネルギーコストの減少が利益に寄与

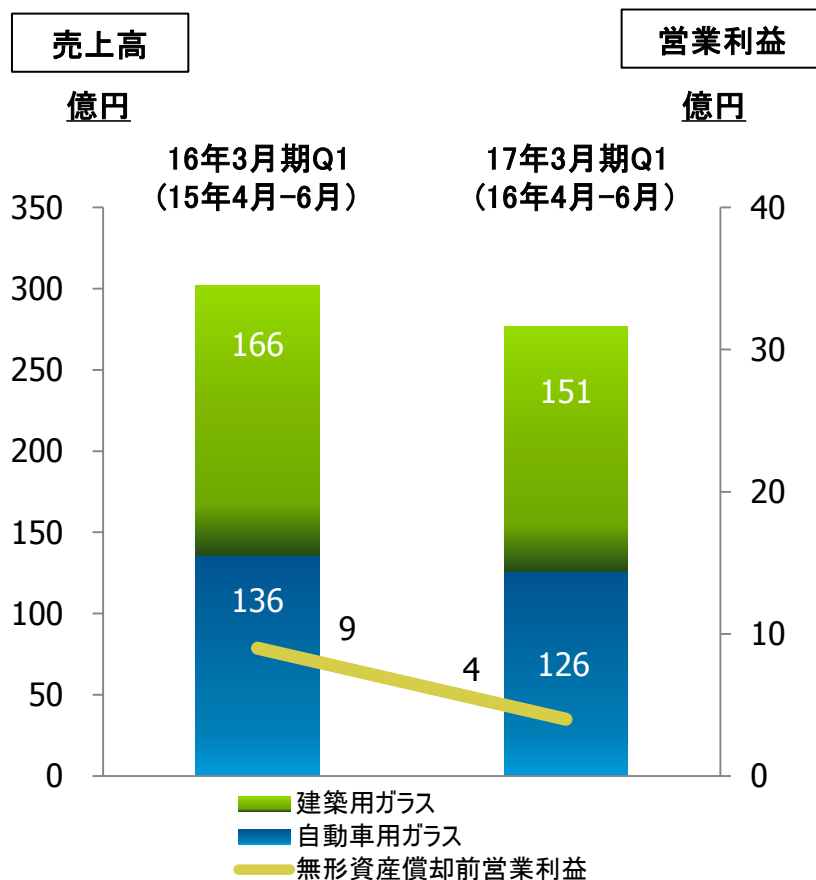
### 自動車用ガラス事業

- 新車用ガラス(OE)は、乗用車販売台数増加の影響を享受
- 生産性が改善
- 補修用ガラス(AGR)の数量は堅調

市場の改善による影響を享受

# 日本

## 2016年3月期第1四半期との比較



### 建築用ガラス事業

- 数量は前年より減少

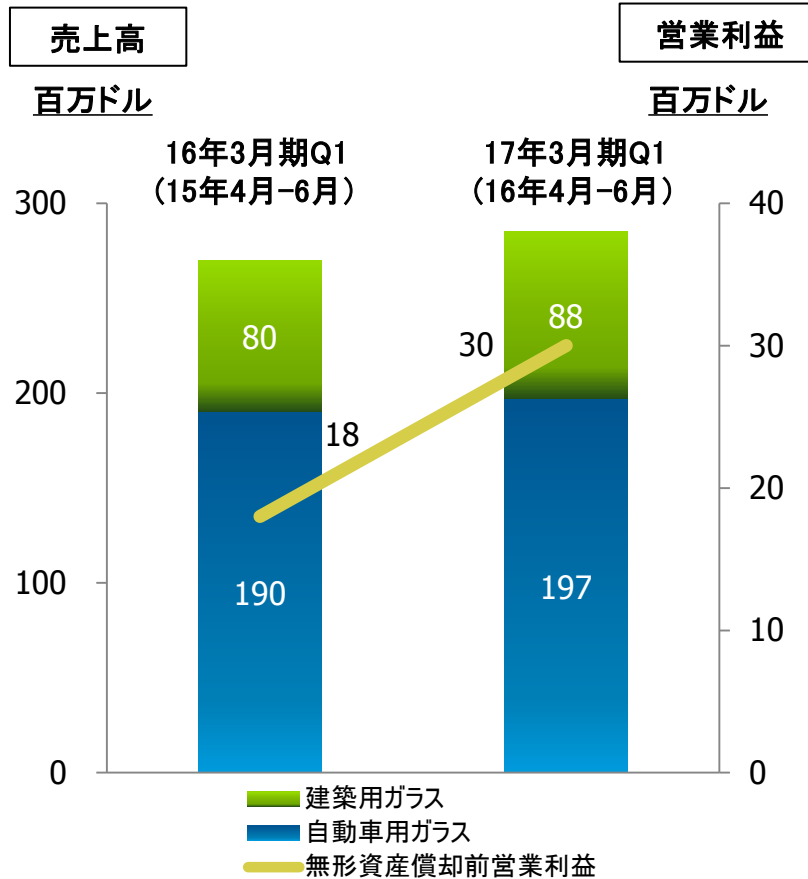
### 自動車用ガラス事業

- 乗用車販売台数減の影響を受け、減収減益

軟調な市場の影響を受け、減収減益

# 北米

## 2016年3月期第1四半期との比較



### 建築用ガラス事業

- 価格が堅調に推移し、増収増益
- 高付加価値品の数量が増加

### 自動車用ガラス事業

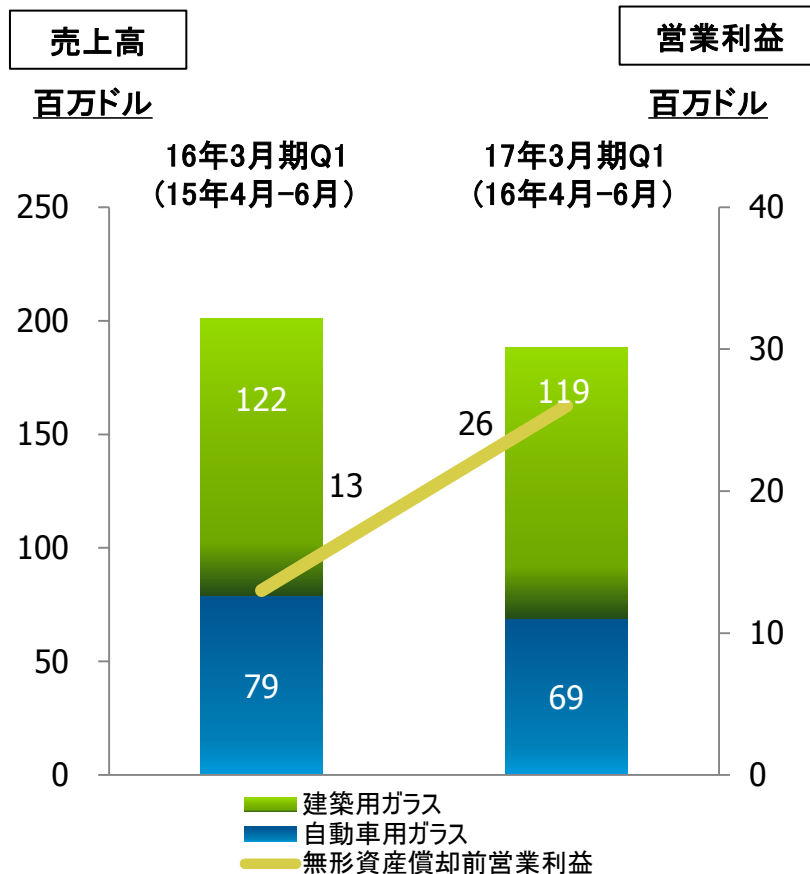
- 新車用ガラス(OE)では、当社の数量が増加しており、増収増益
- 生産性が改善
- 補修用ガラス(AGR)の業績は、前年同期と同様の水準で推移

市場は好調を維持しており、利益増



# その他地域

2016年3月期第1四半期との比較



## 建築用ガラス事業

- 前年は、アルゼンチンのフロート窯定修によるマイナス影響を含む
- 東南アジアの需要は堅調

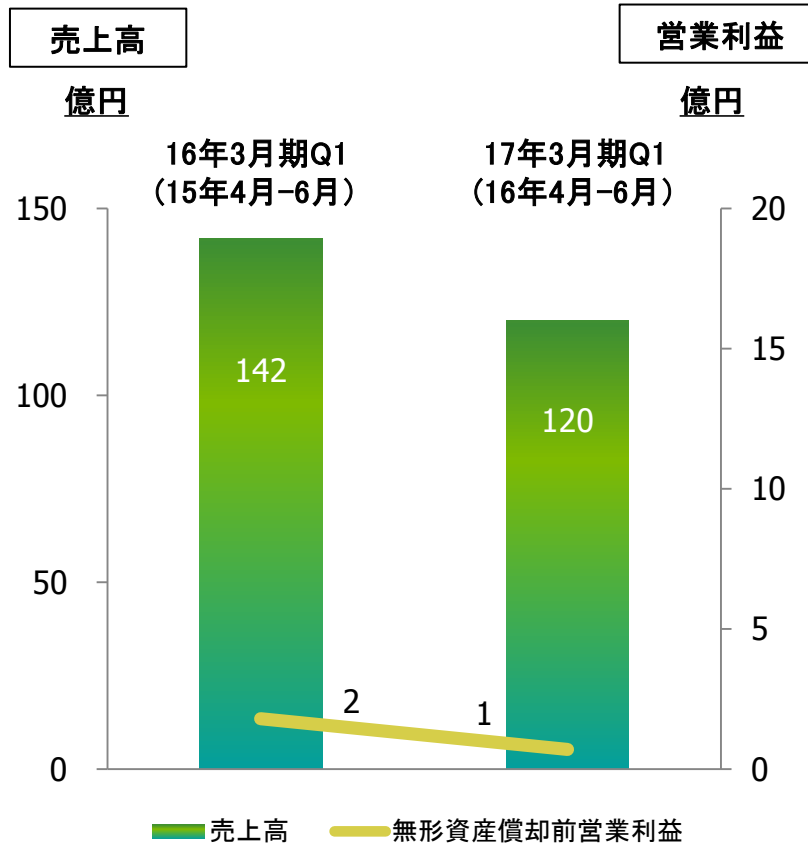
## 自動車用ガラス事業

- 南米では低調な市場の状況が継続

好調な地域と低調な地域が混在

# 高機能ガラス事業

## 2016年3月期第1四半期との比較



### 高機能ガラス事業

- ベトナムの薄板ガラス用フロート窯の休止により、ディスプレイの赤字は縮小
- オフィス向けプリンター用レンズの数量は減少
- 堅調な自動車市場を背景に、グラスコードの数量は増加
- バッテリーセパレーターの需要は堅調

厳しい市場環境の影響を受ける

# 持分法適用会社

2016年3月期第1四半期との比較

(億円)	<u>17年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>16年3月期</u> <u>4月-6月期</u>
持分法による投資損益	0	(1)

- セブラセ(ブラジルのジョイント・ベンチャー)の業績は前年同期から悪化
- 2016年3月期において減損損失を計上した結果、中国とロシアのジョイント・ベンチャーが赤字であっても当期損益に影響しない

前期の減損損失計上により、赤字会社の影響を回避

# 2017年3月期第1四半期決算報告

(2016年4月1日～2016年6月30日)

## 目次

要点

決算概要

事業状況

まとめ

- 2017年3月期第1四半期の営業利益は、前年同期を大きく上回る
- キャッシュ・フローは、利益の増加により改善
- 事業改善・財務改善のための施策は順調に進捗
- 2017年3月期の通期業績見通しは変更なし

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

# 補足資料

# 事業部門別・地域別売上高

2016年3月期第1四半期との比較

(億円)	17年3月期 4月-6月期	16年3月期 4月-6月期	増減
<b>建築用ガラス</b>	<b>599</b>	<b>647</b>	<b>(48)</b>
欧州	223	235	(12)
日本	151	166	(15)
北米	96	97	(1)
その他の地域	129	149	(20)
<b>自動車用ガラス</b>	<b>785</b>	<b>831</b>	<b>(46)</b>
欧州	370	369	1
日本	126	136	(10)
北米	214	231	(17)
その他の地域	75	95	(20)
<b>高機能ガラス</b>	<b>120</b>	<b>142</b>	<b>(22)</b>
欧州	18	21	(3)
日本	62	70	(8)
北米	3	3	0
その他の地域	37	48	(11)
<b>その他</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>
欧州	0	0	0
日本	1	1	0
北米	0	0	0
その他の地域	0	0	0
<b>合計</b>	<b>1,505</b>	<b>1,621</b>	<b>(116)</b>



# 償却前営業利益\*

2016年3月期第1四半期との比較

<u>(億円)</u>	<u>17年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>16年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>増減</u>
<b>事業別</b>			
建築用ガラス	65	33	32
自動車用ガラス	37	26	11
高機能ガラス	1	2	(1)
その他	(14)	(9)	(5)
合計	89	52	37
<b>地域別</b>			
欧州	35	14	21
日本	(6)	7	(13)
北米	31	21	10
その他の地域	29	10	19
合計	89	52	37

\*: 無形資産償却前営業利益

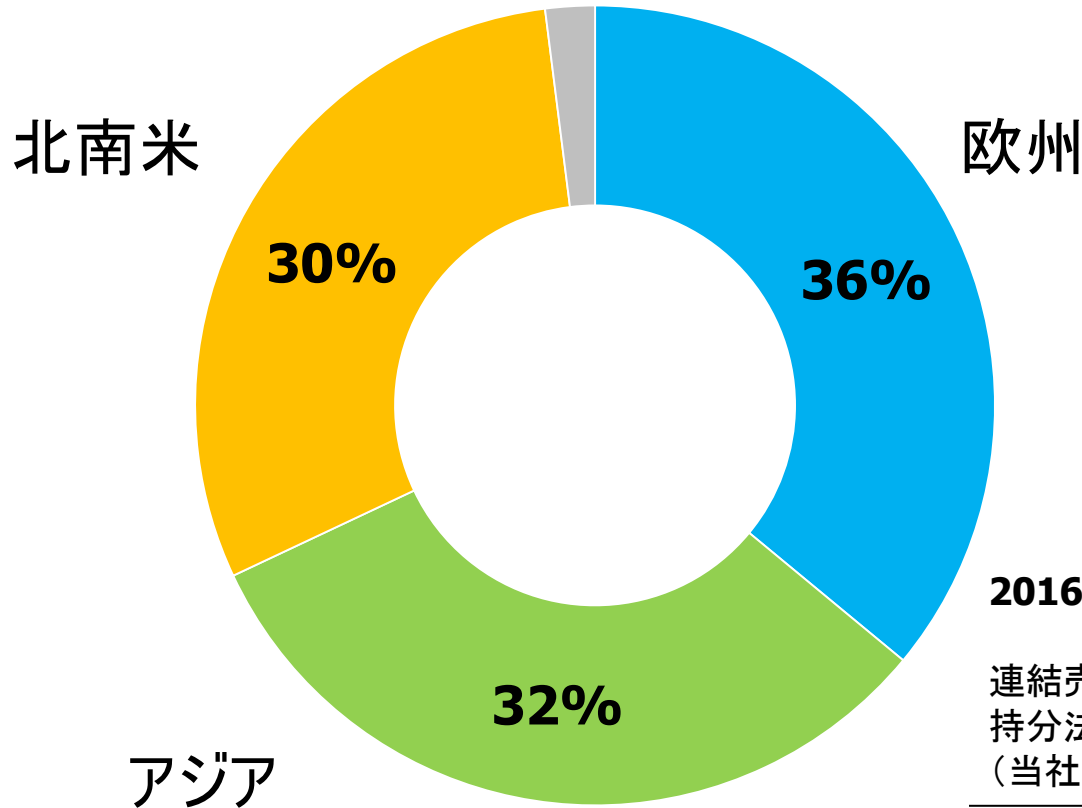
# 連結貸借対照表

	2016年6月末	2016年3月末	増減
(億円)			
<b>資産</b>	<b>7,427</b>	<b>8,121</b>	<b>(694)</b>
<b>非流動資産</b>	<b>5,013</b>	<b>5,714</b>	<b>(701)</b>
のれん・無形資産	1,543	1,764	(221)
有形固定資産	2,362	2,589	(227)
その他	1,108	1,361	(253)
<b>流動資産</b>	<b>2,414</b>	<b>2,407</b>	<b>7</b>
現金及び現金同等物	559	551	8
その他	1,855	1,856	(1)
<b>負債</b>	<b>6,740</b>	<b>7,001</b>	<b>(261)</b>
<b>流動負債</b>	<b>2,849</b>	<b>2,859</b>	<b>(10)</b>
金融負債	1,562	1,435	127
その他	1,287	1,424	(137)
<b>非流動負債</b>	<b>3,891</b>	<b>4,142</b>	<b>(251)</b>
金融負債	2,781	2,934	(153)
その他	1,110	1,208	(98)
<b>資本</b>	<b>687</b>	<b>1,120</b>	<b>(433)</b>
親会社の所有に帰属する持分	604	1,031	(427)
非支配持分	83	89	(6)
<b>負債及び資本</b>	<b>7,427</b>	<b>8,121</b>	<b>(694)</b>

# 為替レート

	<u>16年3月期</u> <u>4月-6月期</u>	<u>16年3月期</u>	<u>17年3月期</u> <u>4月-6月期</u>
期中平均為替レート:			
円/英ポンド	186	181	155
円/米ドル	122	120	108
円/ユーロ	134	132	122
期末為替レート:			
円/英ポンド	192	161	138
円/米ドル	122	113	103
円/ユーロ	136	127	114

# (参考)2016年3月期 グループ売上高 地域別ビジネスウェイト



**2016年3月期**

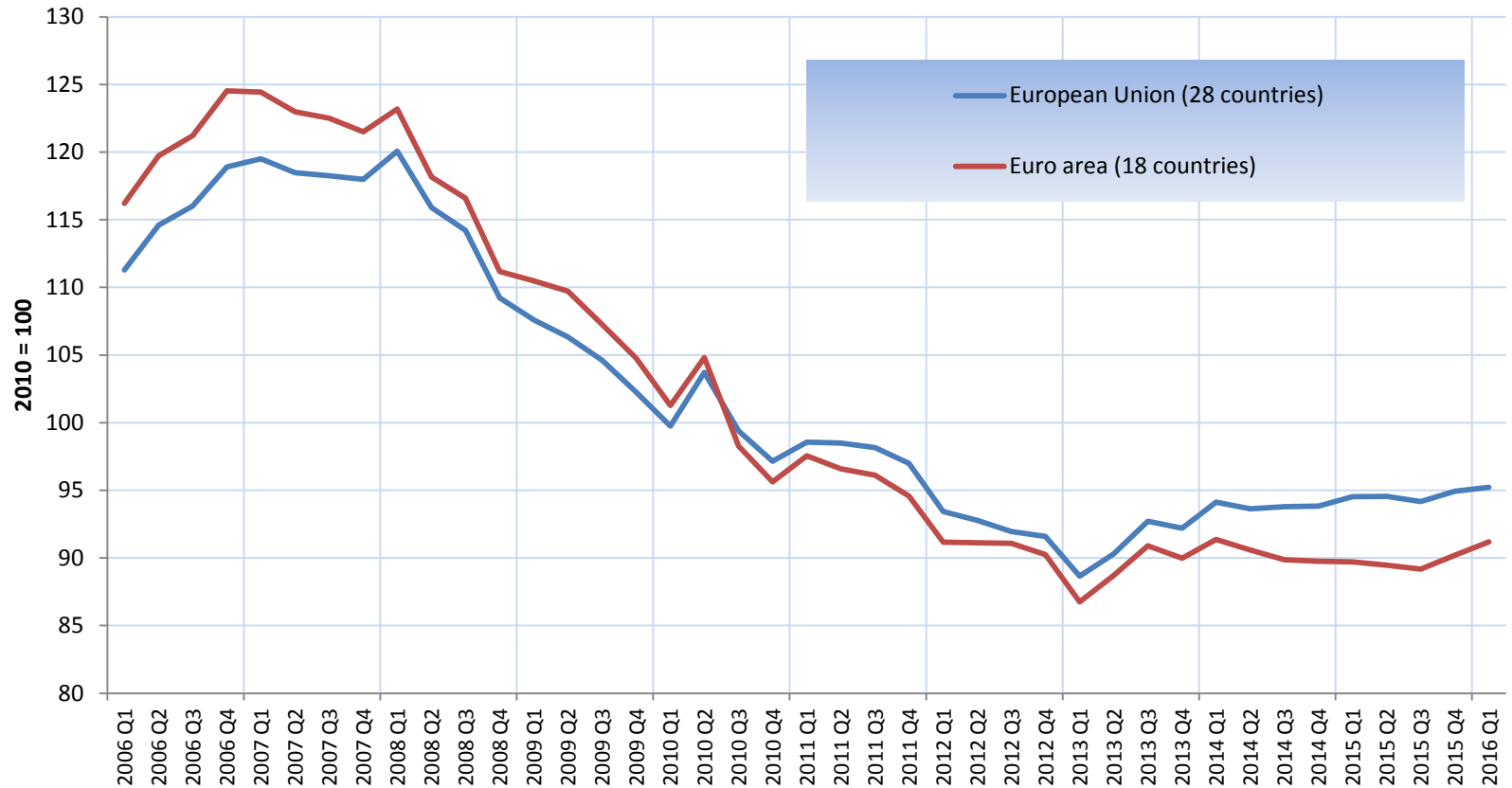
連結売上高:	6,292億円
持分法適用会社売上高 (当社シェア分)	475億円
<hr/>	
合計	6,767億円

当社グループは世界各地でビジネスを展開

# 減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期 Q1
減価償却費	387	366	404	417	409	91
資本的支出	347	260	316	366	282	81
研究開発費	80	73	79	82	98	22

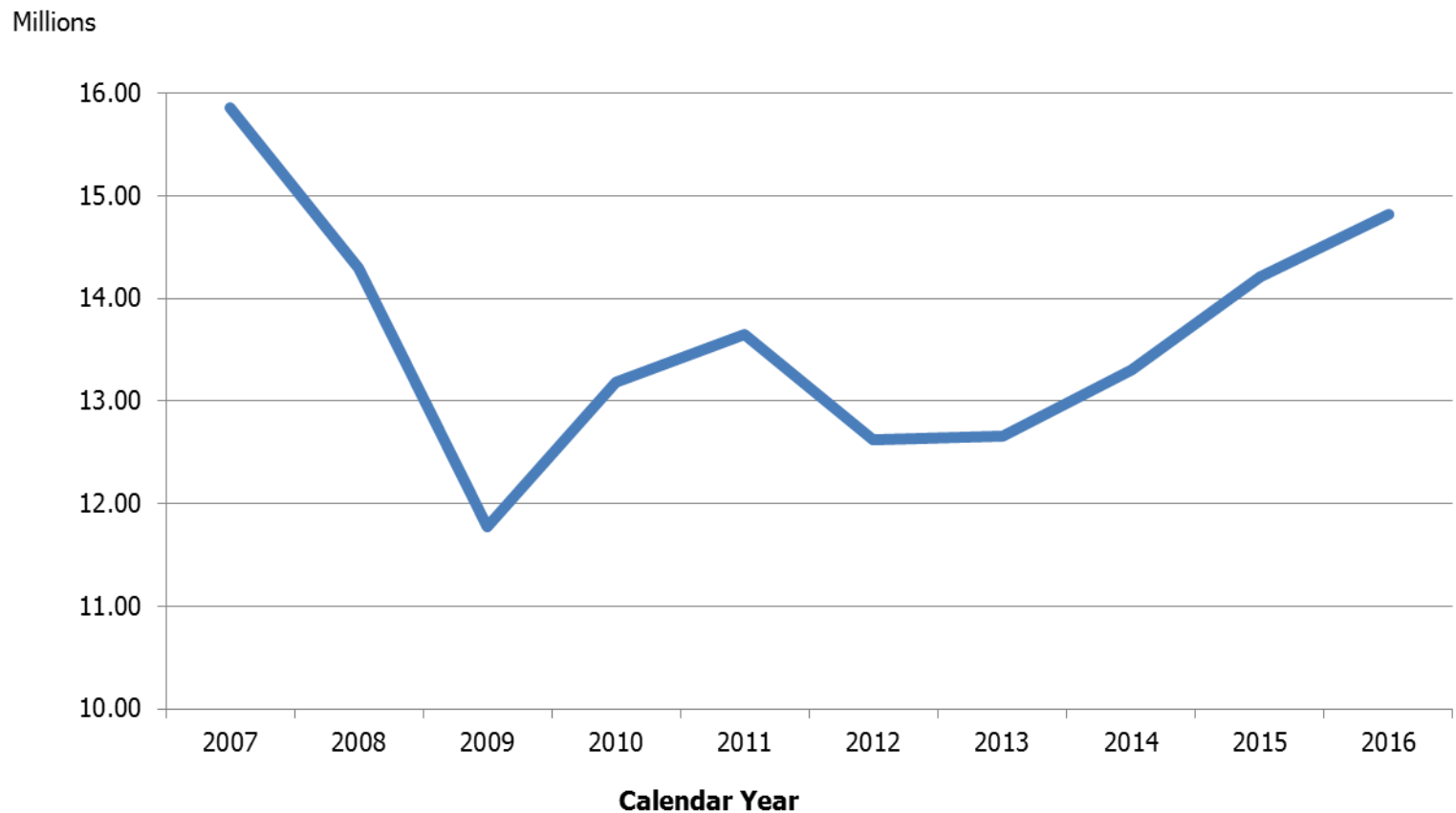
## Production Statistic - Construction Sector Output



Source: Eurostat

# 欧州西欧乗用車生産台数

## Western Europe Light Vehicle Build



Source: : IHS Jul 2016, LMC Jun 2016

# NSG Groupとは

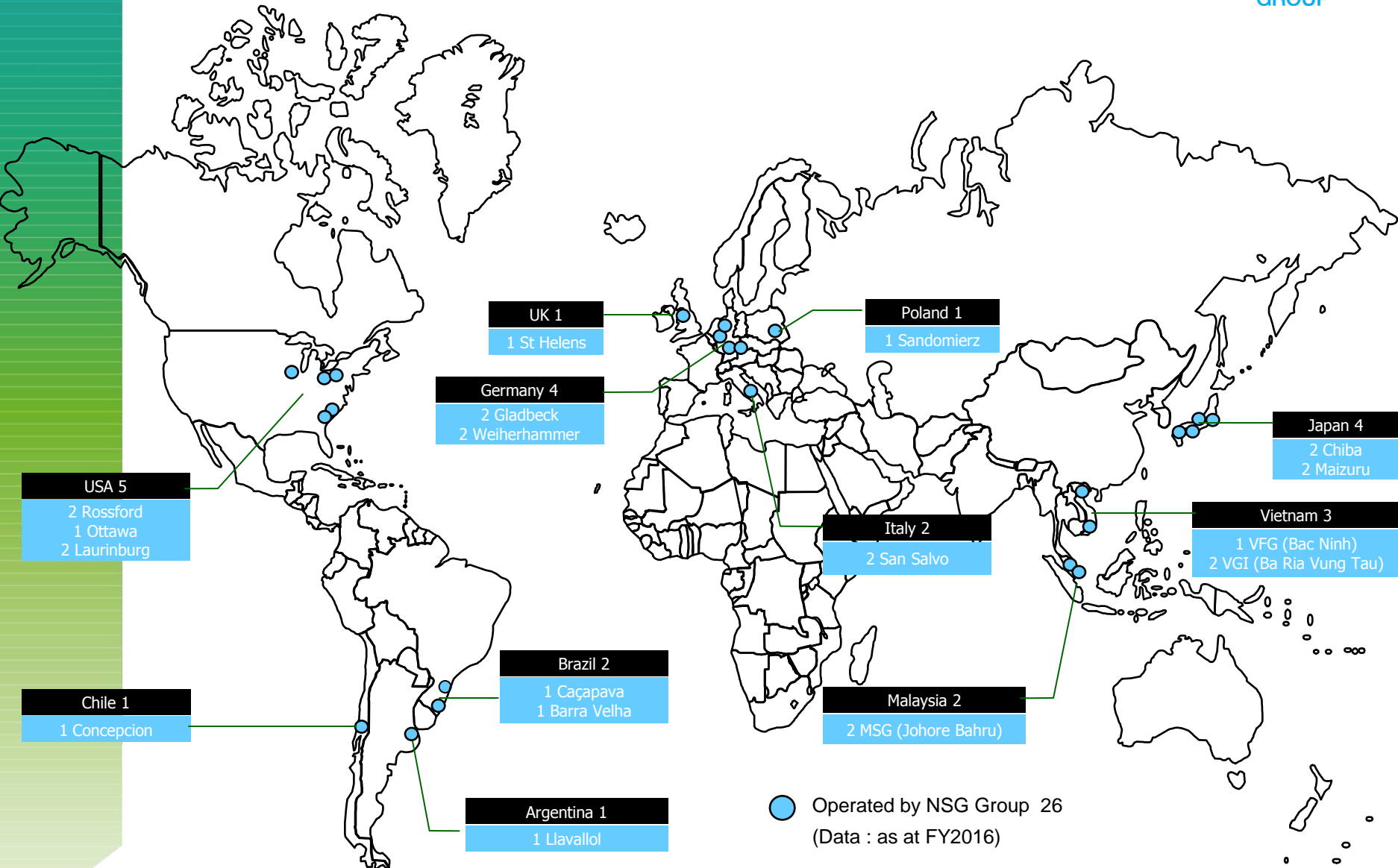


- **世界最大級のガラスメーカー**
  - 建築用および自動車用ガラス事業をグローバル展開、高付加価値品拡大。
  - 高機能ガラス(タッチパネル基板、プリンター部品、グラスコード等)で世界をリード。
- **主要拠点 28カ国、製品販売 130カ国以上**
- **全世界で26基のフロートラインを運営**
- **全世界に 約27,000人の従業員 (2016年3月末)**

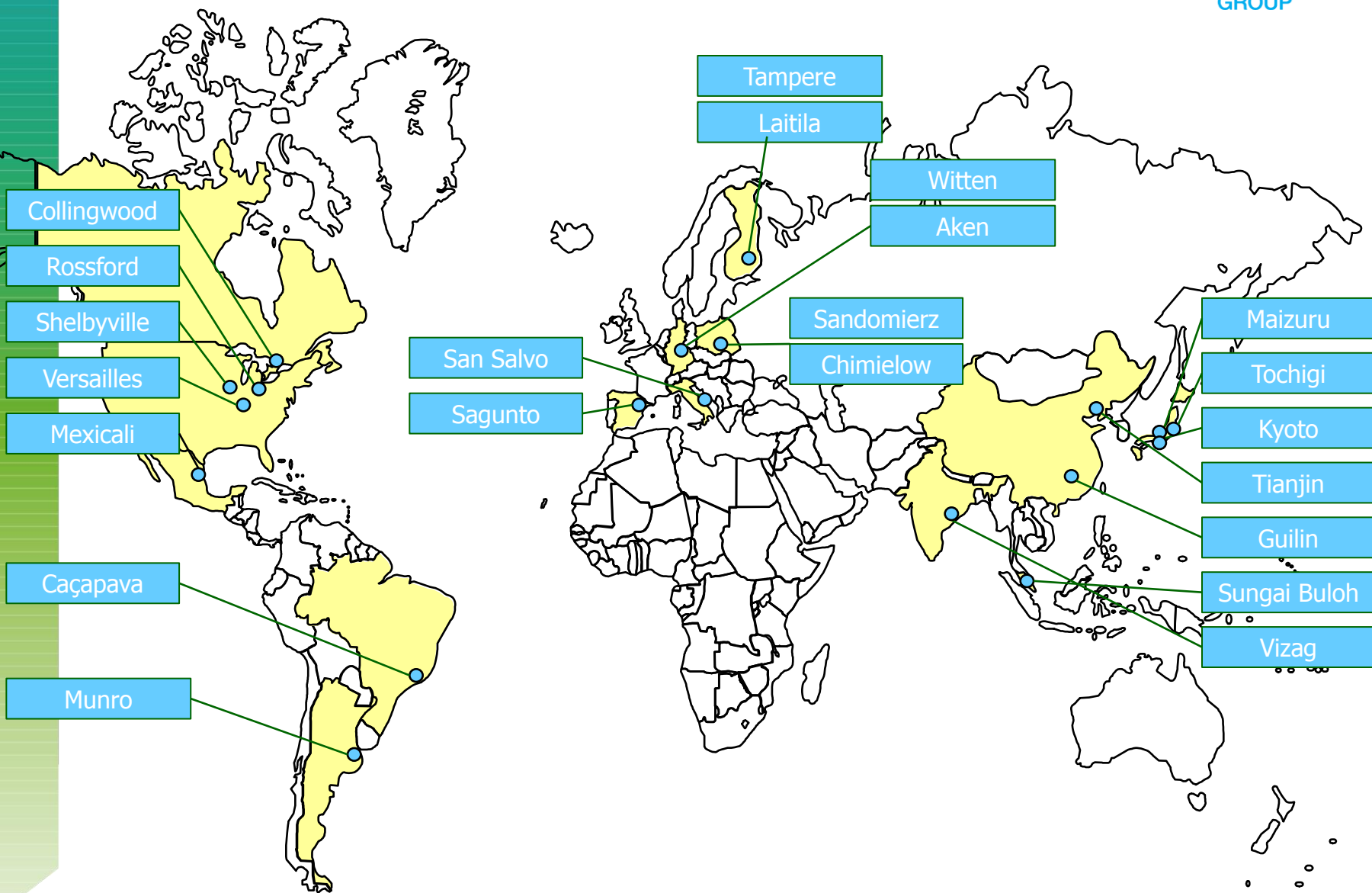
参考： 連結売上高 6,292億円 (2016年3月期)

- |          |   |
|----------|---|
| 1918年11月 | 大正7年11月、コルバーン式製板法による板ガラスの製造を目的として、米国リビーオーエンスフォードグラス社から技術導入し、日米板硝子株式会社として設立され、大阪市に本店を置く。 |
| 1931年1月  | 日本板硝子株式会社と現社名に変更  |
| 1965年2月  | 舞鶴工場にフロート方式によるガラス製造設備新設   |
| 1968年11月 | 「セルフロック」の開発を对外発表（日本電気株式会社との共同開発）  |
| 1971年11月 | マレーシアに、マレーシアンシートグラス社を設立   |
| 1995年3月  | ベトナムフロートガラス社設立  |
| 1997年10月 | 真空ガラス「スペーシア®」の販売を開始   |
| 2001年10月 | 英国ピルキントン社、持分法適用会社となる  |
| 2004年7月  | 本店所在地を大阪から東京（東京都港区海岸）に移転  |
| 2006年6月  | 英国ピルキントン社、当社の完全子会社となる。NSG Group として事業展開へ。   |
| 2007年2月  | 東京本社及び本店所在地を現住所（東京都港区三田）に移転   |
| 2008年6月  | 委員会設置会社へ移行  |
| 2011年4月  | 連結会計に国際会計基準（IFRS）を適用  |

# フロートガラス生産拠点



# 自動車ガラス生産拠点



**NSG**

**GROUP**